

令和6年3月13日

保護者 様

柏市立柏第一小学校

校長 増子 健司

令和5年度 学校教育活動アンケートの結果について

春暖の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、過日保護者の皆様にご協力いただいた、「学校教育活動アンケート」の集計結果をお知らせいたします。「集計結果」及び「保護者・児童・教職員のアンケート集計」は、学校 HP に掲載してございますので、ご覧ください。なお、「集計結果」につきましては、保護者の皆様や児童及び教職員のアンケートを基に本年度の自己評価を作成し、学校運営協議委員の皆様にもご意見を伺い、次年度の改善策等を集約したものを載せました。

詳細につきましては、学校 HP をご覧になっていただきたいと思います。保護者の皆様から寄せられたご意見で改善できるものは、改善していきたいと存じます。

この結果及び、お寄せいただきましたご意見等は、来年度の学校経営に生かしてまいります。今後もさらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和5年度 学校評価アンケート結果

柏市立柏第一小学校

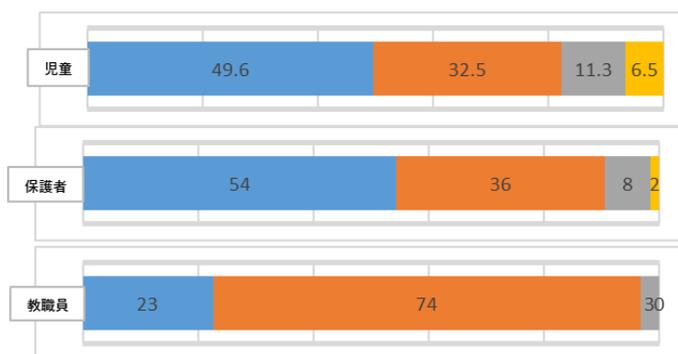
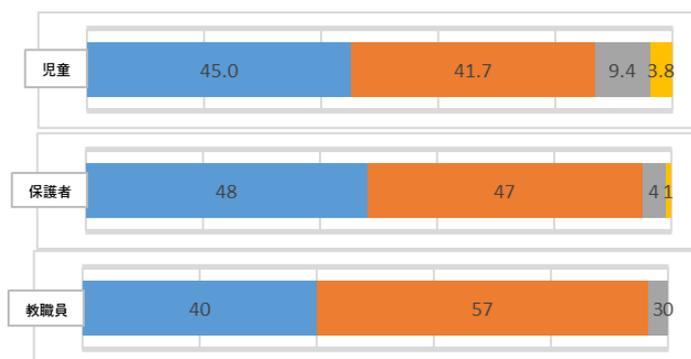
1 概要

本校では、学校教育目標「かしわ一小けんめい！～よく笑い よく遊び よく学ぶ～」を基本的な考えとし、本年度「安全・安心な環境作り」「学力差への対応」「心の教育・居場所づくり」「健康教育の充実」「職員の資質・指導力の向上」の5つの柱を軸に、「115周年を児童・職員・保護者・地域の人々で祝い、保護者や地域に信頼される学校づくり」を目指し、教育活動に取り組んできました。また、新型コロナウイルスが5類に変更され、世の中の意識も大きく変化した1年でした。この4年で、コロナ前の教育課程を経験した学年が少ない中、教育活動を進める難しさもありましたが、各問への回答を見ると「肯定的な評価」をした児童の割合が、昨年度とほぼ変わらない結果が得られました。職員一同、一安心したところです。様々な形で保護者の皆様にご理解とご支援をいただき、行事等のやり方を工夫して子ども達の学びの保障ができた結果であると思います。心よりお礼申し上げます。

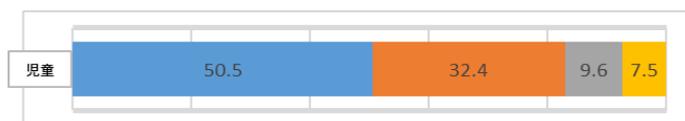
2 学校教育目標の具現化に向けた取り組み <上：児童 中：保護者 下：教職員>

(1) 学校教育目標に向けて

- 1 「かしわ一小けんめい！よく笑い よく遊び よく学ぶ」という目標を意識して生活できましたか
- 2 学校へ行くのは楽しいですか

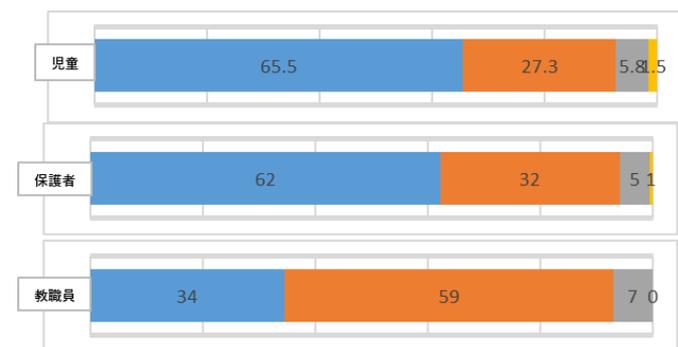
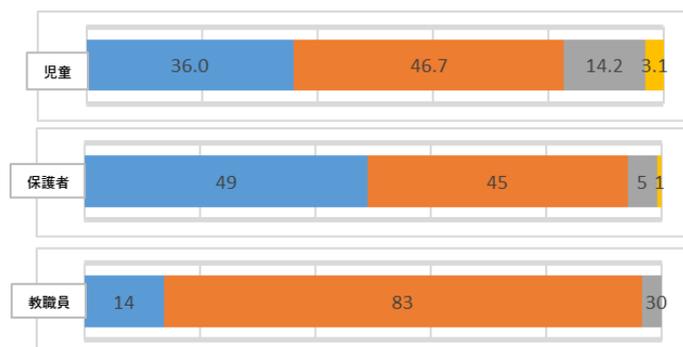


3 学校には自慢できる良いところがありますか

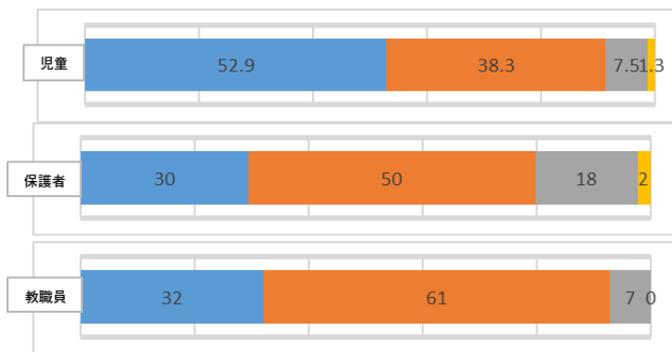


(2) (知) 学力差への対応、教職員の資質・指導力の向上

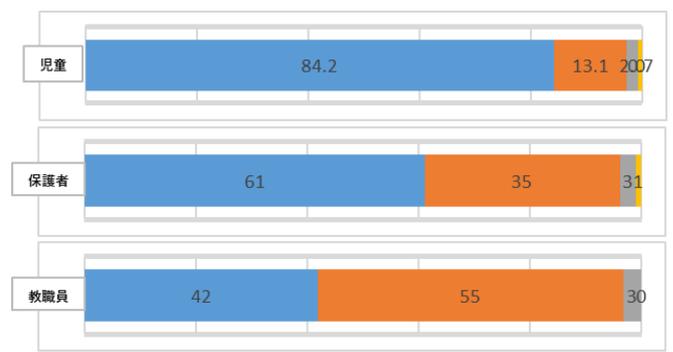
- 4 授業中、自分から進んで学習に取り組みましたか
- 5 一人一台端末を使って学習を進めましたか



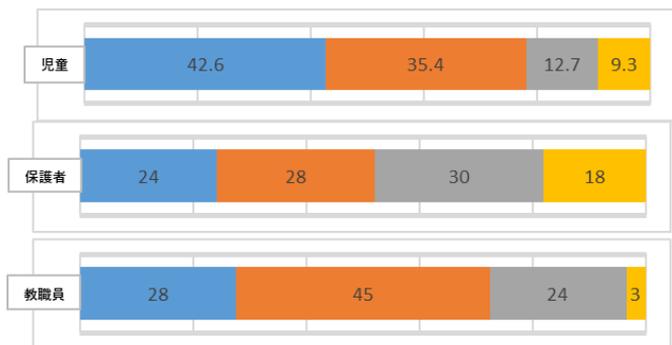
6 学校の授業は、よくわかりますか



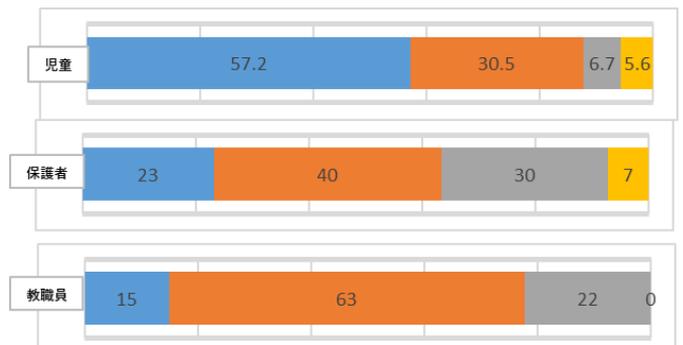
7 学校の体験的な学習の時間はすきですか



8 本を読むのが好きですか



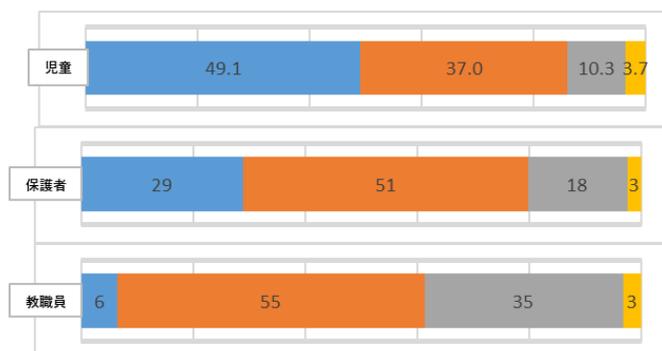
9 宿題は忘れずにやっていますか



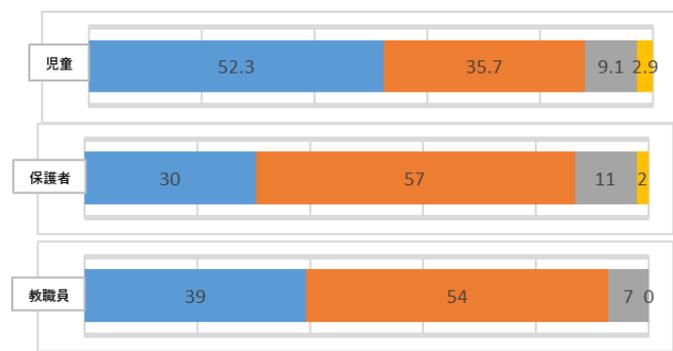
「4 授業中、自分から進んで学習に取り組みましたか」や「5 一人一台端末を使って学習を進めましたか」の結果から、ICTを使った授業が子どもたちの主体的な学びに繋がっていることが伺えます。多様な表現活動を通して児童が主体的に学べる授業づくりに今後も努めていきます。また、「9 宿題は忘れずにやっていますか」「家庭学習に進んで取り組むことができますか」では、児童の肯定的な評価が昨年度と同様の結果が見られました。保護者の協力のもと、課題にしっかり取り組んだり、宿題を忘れずに提出したりして学習習慣が少しずつ身に付いてきた結果であると思われます。また、一人一台の端末が配備され、宿題の内容も少しずつ変化してきました。ノートやプリントでの宿題の他にも端末を使った宿題も今後さらに増えてくると思います。それぞれのよさを生かし、主体的に宿題に取り組めるよう指導していきます。学校での学びを家庭でも取り組みたいくなるような宿題の設定や家庭学習を学校の学習に生かせるような授業内容など、学校と家庭が結び付いた取り組みを進めてまいります。

(3) (徳) 心の教育・居場所づくり

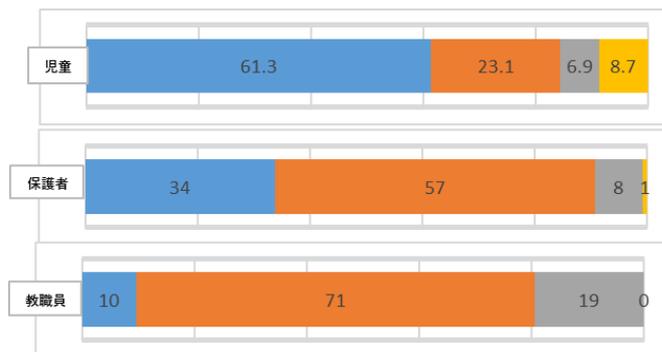
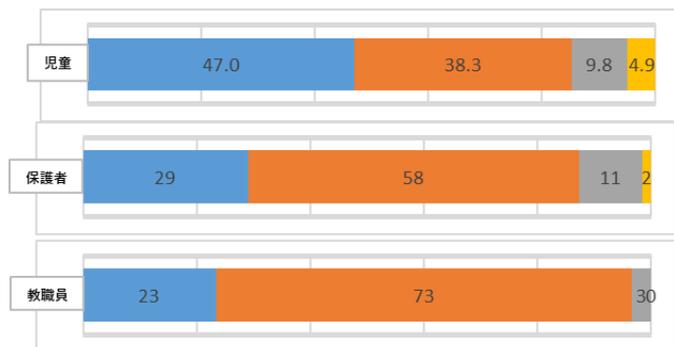
10 先生や友達、地域の人に進んで挨拶をしていますか



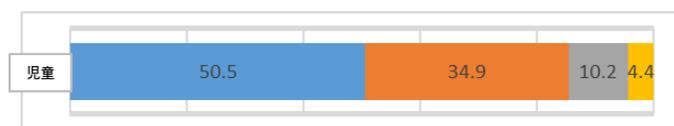
11 道徳の時間は自分の考えをもつことができましたか



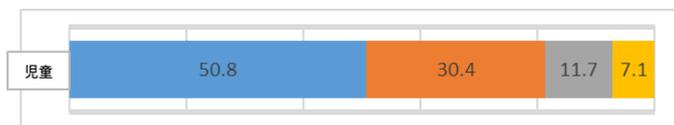
- 12 先生や友達は自分のことをよくわかっていますか 13 いじめや悪口など人の嫌がることはしていませんか
(思いやりのある言動がとれていますか)



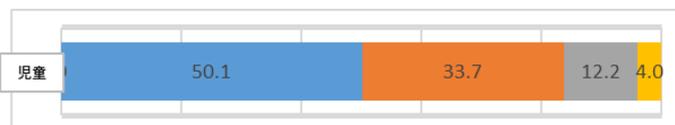
- 14 先生は自分たちが頑張ったことを認めたりほめたりしてくれましたか



- 15 家の人に、学校であったことや友達のことなどをよく話をしていますか



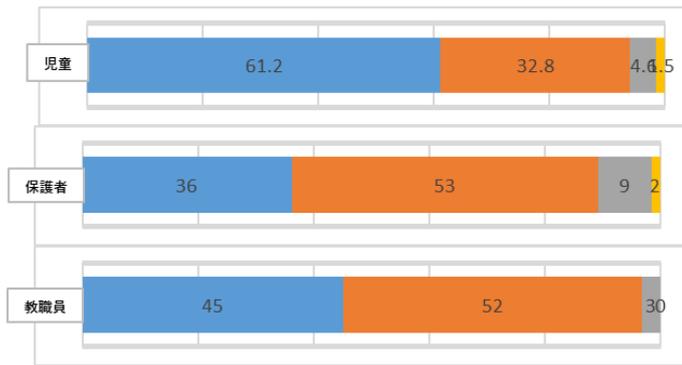
- 16 先生は困った時に何でも相談にのってくれましたか



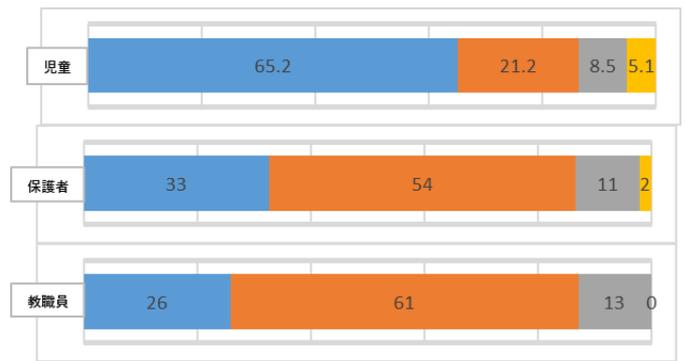
「10 先生や友達、地域の人に進んで挨拶をしていますか」では、児童と保護者、教職員の結果に差があるようです。コロナ禍において、大きな声で挨拶をするという習慣が少なくなったことも一因と考えられます。また、家庭では挨拶ができていても、学校や地域では十分でないことが考えられます。校内での挨拶は「自分から」「場に応じた挨拶」「会釈をする」を心がけるよう指導していますが、まずは教員や大人が手本となり、子どもたちに声を掛けていき、地域やボランティアの方々にも挨拶を広げていけるように今後も継続して指導していきます。ご協力をお願いします。「13 いじめや悪口など人の嫌がることはしていませんか」でも、児童と保護者、教職員の結果に差があるようです。普段何気なく使ってしまう言葉の中には、人を傷つけたり思わぬトラブルを招いたりする言葉もあります。その都度、その言葉がどんな意味を持つのか、その場の状況はどうかを考えるよう指導しています。「12 先生や友達は自分のことをよくわかっていますか」では、「肯定的な評価」をした児童・保護者・教職員が8割を超えています。しかし、約2割の「否定的な評価」を無視することはできません。自分のことを理解してもらえているという安心感が学校生活に与える影響は大きいからです。児童が安心して過ごすことができるよう、日常の変化に気付くとともに、いじめアンケートや面談により困り感をもっている児童にいち早く気付き声掛けをしていくことが大切だと考えます。子どもたちには今後も「いじめは決して許されない行為」であることを指導してまいります。何か心配なこと等がございましたら、保護者の皆様からのご相談いただきたいと思います。

(4) (体) 健康教育の充実

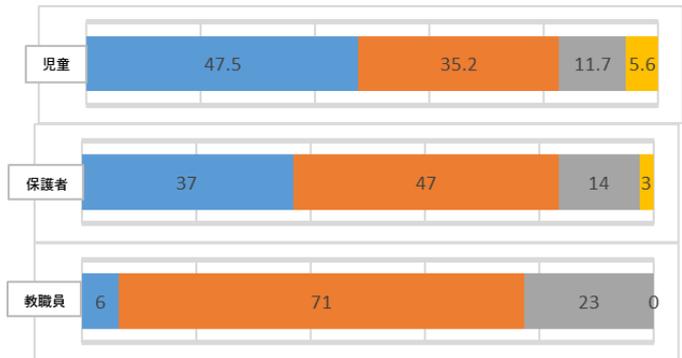
17 手洗いやうがいなどをきちんと行い、健康に気をつけて生活できましたか



18 運動や外遊び等進んで体を動かすことができましたか



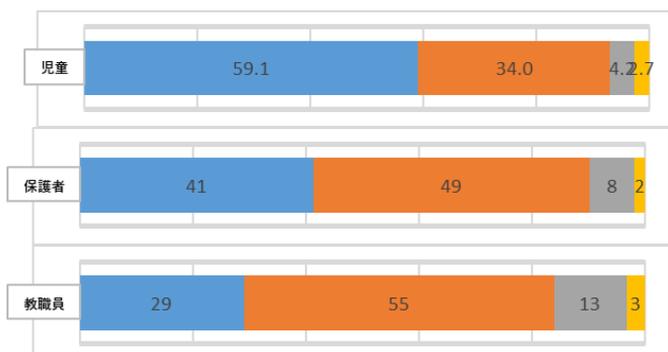
19 早寝、早起き、朝ご飯を心がけて生活していますか



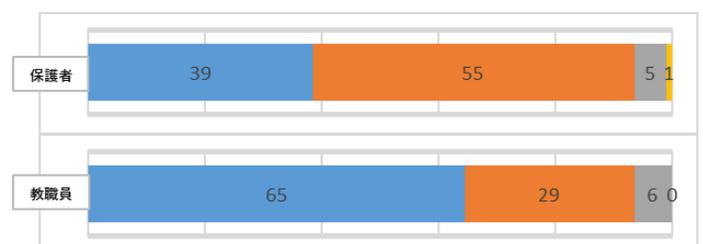
「17 手洗いやうがいなどをきちんと行い、健康に気をつけて生活できましたか」では、感染症防止対策として換気したり、委員会や係活動の中で手洗いを呼びかけたりと日常的に健康に気をつけようとする意識が付いてきたようです。しかし「19 早寝、早起き、朝ご飯を心がけて生活していますか」では、否定的な回答がやや多く見られます。基本的な生活習慣について、特に朝食については大半の児童が食べてから登校しています。児童が元気に学校で学習や生活するためには、朝食の摂取が欠かせません。授業を通して子どもたちに自分の健康を守る大切さを伝えたり、学校からも情報を発信したりしながら保護者の協力のもと、進めていきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。「18 運動や外遊び等進んで体を動かすことができましたか」では、授業を通して体力の向上と心のバランスを図るよう指導してきました。感染防止対策も緩和され、休み時間には外で遊ぶ機会も増えました。しかし、夏の気温の上昇等もあり、積極的に外遊びの声掛けができないことがありました。その結果、室内で過ごす児童も増えました。今後も状況を見ながら声かけし、児童の健康と体力の向上への工夫を図っていききたいと思います。

<保護者：学校に望むこと>

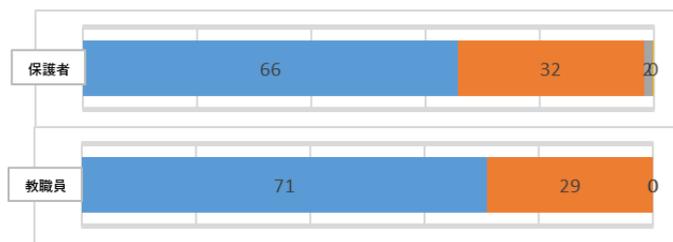
20 安全に気をつけて生活できましたか



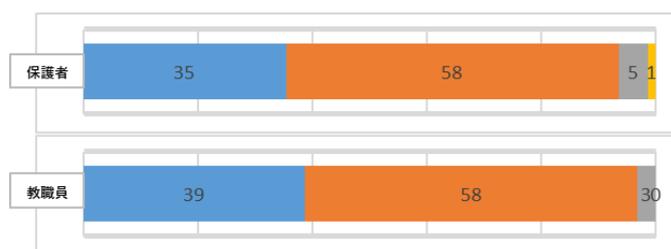
21 柏一小の教職員は一体となって教育活動に取り組んでいると思いますか



22 学校はスクリーンやメール、学校HPを活用して積極的に情報提供を行っていると思いますか



23 学校はお子さんのことで困ったことがあった時、保護者が相談しやすい雰囲気があると思いますか



24 学校は保護者や地域と連携を取り、協力して教育活動に取り組んでいると思いますか



「20」～「24」の項目すべてにおいて保護者の方から概ね9割を超える「肯定的な評価」をいただいておりますが、「ややそう思う」が半分を占めており、改善の余地があると思われま

す。今年度は、コロナ感染症が2類から5類へと変更になり、教育活動も見直す1年となりました。

また、115周年という節目の年、「子ども達のためになる活動をしていきたい」という願いのもと、PTA活動や地域行事もできる限りの感染予防に努めながら形を変え取り組んできました。皆様には、本当にご協力いただき感謝申し上げます。今後も教職員一同、「Withコロナ」を経て「Afterコロナ」時代のやり方を模索しながら、PTAや地域とより一層連携を図っていききたいと思

保護者からのご意見【自由記述】

【スクリーン等情報の発信について】

○地域のワークショップや体験案内が最近多いので良いと思いますが学校関係の案内でも十分だと思います。

○いつもお世話になっております。

スクリーンのお便りが、学校からのお便りと地域のチラシが混在しており、探したいお便りがなかなか見つからないということがありました。スクリーンのお便りは、学校からのお便りのみにするか、検索機能をつけて欲しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

○いつもお世話になっております。スクリーンアプリでおたよりが電子化されたのは、ペーパーレスとなり嬉しいことだが、まだまだ改善の余地があり、アプリがもっと便利に使える内容になっていってくれたら良いと思います。

○スクリーンの配信時間を決めてほしい。日に何度もバラバラに配信されるので、チェックしづらい。また、学校・学年だよりや献立の配信をもっと早めにしてほしい。

○卒業してしましますが、気づいたことを入力します。スクリーンになってから、私自身お便り等の読み逃しが多くなっています。必要に応じて家庭で印刷をとのことでありますが、例えば年間予定表等は、何度も見直すことが多いので、印刷したものを年度始めにいただけたらありがたいと思いました。

○スクリーンを改善してほしいです。印刷用のレイアウトはスマホでは非常に読みにくいです。アプリで読むことを意識して作成していただけるとよいと思います。

- スクリレを利用は良いと思いますが、子供参加のイベントも親が聞く形となり、子どもからやりたいと言ってくるのがなくなりましたので、さみしいと思いました。状況に応じて、紙も活用して欲しいです。中学はまだ、プリントが多いので、出す癖がつかなくなることも心配です。

今年度本格的に導入されたデジタル連絡ツールの「スクリレ」ですが、保護者の皆様の利便性向上を目的に、学校からのお便りをデジタル化して個人情報を取らずにスマートフォンへ直接配信するサービスとして導入してきました。このサービス導入により、お便りを確実に受け取り、いつでもどこでもお便りの確認ができるようになったり、本校にとっても印刷作業の時間とコストの削減につながったりと概ね良好との評価を得ています。しかし、システムの関係上、手紙の種類ごとに分類する機能がないなど、使い手側にとっての不便さがあり、運営会社に改善を要望しましたが解決するまでには至りませんでした。また、配信時間についてですが、基本的には12時配信で統一していますが、内容によっては即時配信する必要性もあります。保護者の皆様にはご負担をおかけしますが、こまめにチェックしていただくと大変助かります。また、学校からのお手紙の中で紙媒体でのお手紙が必要な場合は、担任又は学校までご連絡いただければと思います。その都度、紙媒体での対応もしていきたいと考えています。

次年度からは新しい連絡ツール（sigfy）となります。「スクリレ」で慣れてきたころだとは思いますが、どうぞご理解いただければと思います。

【部活動について】

- 先生方の負担になってしまいますが、部活動がもっと充実していたら良かったなと感じました。
- 先生方の負担にはなりますが、部活動をもっと充実して頂けたら良かったなと感じました。
- 友達の繋がりや先生達との繋がり運動など活発的にやって欲しいです。
- 部活動がなくなってしまったのが残念。外部講師の方と連携しながら継続して欲しかった。
- 吹奏楽部の活動が来年からなくなってしまうという連絡が突然きて、とても驚くとともに、親子共々非常に残念に感じております。先生の負担が大きいということが理由なのかと存じますが、子供がとてもやりがいを感じ、楽しく活動していたため、涙を流すほど残念がっておりました。（子供には直接言わないでください）月に一度でも、活動する機会を設けるなど何らかの方法をご検討いただくことはできませんでしょうか。ご無理は承知しておりますが、子供の活動の機会を減らしたくないと思い、ご検討だけでも思いお伝えさせていただきます。"
- 来年度から部活動がなくなると通達があり、ここ数年は持久走大会もなし。運動を楽しみ、披露する場がどんどん縮小され、活動を楽しみにしていた子どもがショックを受けています。高学年の子は特にそう感じている子が多いと聞きます。子どもたちへのフォローは具体的にはどのようにお考えなのでしょう。放課後、少し校庭で遊んでから帰ってもいい日を作るなど、何かできることはないか、保護者も一緒に考えてもいいのでは？と思います。
- 来年度は、特設吹奏楽部がなくなるので、違った形で楽器に触れる機会を設けて頂けたらと思います。
- 吹奏楽部について、説明会や代替案もなく、来年から活動休止となったことが残念です。柏市音楽発表会のために楽器を弾くわけでないし、習い事で対応できることでもないの、話し合う機会があっても良かったかと思えます。保護者や地域との連携など、できることはないのでしょうか。来年はどの楽器をやるのかと、子どもが楽しみにしていただけに、大人の都合に巻き込んでしまって申し訳なく思いました。

今後の部活動については、柏市の方針にも則り、教職員の働き方改革の一環として、中学校を中心とした特設部活動の地域移行を進めています。また、小学校においても、令和6年度には市内陸上大会や市内音楽発表会がなくなり、令和8年度には部活動の全面停止の方向が示されています。本校としましては、次年度以降の部活動について検討した結果、実施しないという判断をいたしました。

その後保護者の皆様から、次年度以降の部活の在り方について貴重なご意見をいただきました。また、現特設吹奏楽部の児童の皆さんからも同様に特設吹奏楽部の存続の声がありました。学校としても、子ども達への思いに対して何かできないかと児童の興味や能力を引き出す取組を再度検討し、代替プログラムの導入を地域移行の方向として進め、地域の音楽団体に講師を依頼しました。先日、その第1回体験会を実施し、多くの子ども達及び保護者の方にご参加いただいたところで、今後は、令和6年度の実施に向け詳細を話し合っていきます。令和6年5月からの活動開始に向け、今後も体験会を実施する予定で考えています。ぜひご参加いただければと思います。また、同様に、運動部の活動につきましても、次年度以降に子ども達の運動の機会を増やしたり、興味・関心を高めたりするための体験会やイベントを行うことはできないかと検討しているところです。詳細が決まりましたら保護者の皆様及び子ども達に向けお知らせしたいと思います。児童の未来につながる、よりよい学びの場が提供できるよう引き続き努めてまいります。今後も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【連絡体制について】

- 緊急時以外、宿題や持ち物等は、帰宅後にネットで連絡するのではなく、帰りの会までに直接伝えてもらいたいです。
- 宿題・課題内容が児童のPCに載るため、親が内容を把握できないので、親も見られるようにしてほしい。いつも色々ありがとうございます。今後とも宜しくお願いいたします。
- 一人一端末を扱えるようになることは理解できますが、クラスルームの確認のために毎日タブレットを持ち帰る必要があるのか疑問に思う。荷物が重いし、連絡帳に自分で記入することも勉強になると思う。
- お忙しいとは思いますが、iPadへの宿題連絡が終業の時点で来ていると助かります。帰宅時に宿題がよく分からないとなることが多いので
- 連絡事項は端末ではなく連絡帳の方が好ましいと思います。自分で板書する大切さもあるように感じます。また何度も端末を確認する余計な時間が多く、つい別のことを端末でやり始めたりして困っています。"

保護者の皆様から連絡体制の在り方について様々なご意見をいただいております。連絡帳の取り扱いについては、本年度は、各学年で連絡帳をPCでお知らせしてきました。従来の紙の連絡帳に書くことをご希望される場合には、担任までご相談ください。なお、PCに連絡帳の内容を児童が帰宅する時間に合わせて配信できるように教員には共有してまいります。

【教職員の対応について】

- 全体では学校で色々な場面に即時に対応頂き日々感謝しております。ただ、実際に子の担任は他のクラスと教育面や生活面でも指導が十分でないと感じることが多々あります。子は他のクラスと比較して、不公平感を感じております。たとえ若手の方が担当教師となっても、不足面を他の先生がフォローする、状況確認するなどご対応頂けると大変助かります。どうぞ宜しくお願い致します。
- いつも様々な体験と学習をありがとうございます。
- いつも根気強く向き合ってください本当にありがとうございます。
- 学校からのスクリーン提供情報と担任からの提供情報に差異があり何度も困惑している。
 - 1) 「ハロウィン駅前商店街を保護者同伴ならランドセルのまま寄っても良い」と当日、担任から子供達へ話あったそうです。親子同伴で商店街寄ったら、商店街の皆様より何度もお叱りを受けた。子供帰宅前でも

親同伴なら許可の知らせを学校から聞いていない、周知徹底して欲しい、とお叱りを受け、親子で謝罪しました。

2) 学校に提出済の物を「提出してない、無ければ2日間で購入して下さい」と担任から連絡を戴いた。実際は学校に保管してあった。

3) 衣服の件。スクリレ情報に基づき用意した衣服を「間違っています」と担任が子供へ拒否。その後「やっぱり大丈夫でした」の電話連絡を、夜に戴いた。

2)3)の件、共に、担任に直接言われた子供は、毎回不安になっています。後日、担任から子供へ直接お話、フォローは無かったそうです。

学校からのスクリレと、担任からの話と、行き違いの連絡が多々あります、保護者への電話連絡は周知確認の上で御連絡お願いします。その度に、親子で不安になっております。宜しくお願い致します。

○母校や郷土への誇りと愛着を高めるため、一層地域との連携・教育分野における協働を深化させるための体制を整えるとよい。インクルーシブ教育により注力するとよい。

限られた教職員数ではあるが、下位層はもちろん、上位層の児童をその水準に応じてフォローする工夫があるとよい。

○子供の心の教育はもっと力に入りたいです。どうぞ宜しくお願いします。

○他学年で学級崩壊やいじめのおはなしを聞くことがあるのですが、モデル校としてすべて公開し、受け止めて対策することが必要なと思います。先生方は隠してなかったことにしているのかな?と誤解してしまうからです。事実かどうかを見極めるのは難しいと思いますが、不安になっている保護者もいるため努力していただけると嬉しいです。

○夏のアンデルセン公園校外学習は、熱中症予防のために時期をずらした方がよい。もしくは行き先を検討した方がよい。学級に保護者が入って過ごしている児童がいる事を知った。特別支援級に在籍しているのは、担任の声掛けだけでの生活に難しさがあるからではないのか。学校は親元から離れて自立活動をする経験を積む場所だと考える。だとすれば、親が入らなければ生活に支障がある現段階では、支援学級で相応の力を身につける段階にあり、今望んでいる事が本人にとってレベルの高い事なのではないか。学校側がどのような約束をその保護者としているのか不明だが、個人情報観点や担任の先生の指導に支障が出ないのかなど、疑問が多い。

○担任の先生がどのような指導をしているのか、学校としてどのように確認しているのか気になります。担任の先生に懸念点がある場合、親はどこにどのように相談すべきかわかりませんので、その窓口を明確にいただければと思います。

○子どもについて、個別に相談したことに対して担任の先生がとても丁寧に対応してくださり助かっています。

○クラスによって自学の提出の頻度が違ったり、社会科のテストで選択制の問題で自分が調べた所だけをやるクラス、自分は調べてないが全問やるクラスがあり、なぜ学年で統一されていないのか気になる。昨年度までは学年で統一されていたが、今年度になってからクラス単位という部分が目立つ。偏りを防ぐためにも、来年はいろいろな事をできれば学年で統一してほしい。

○娘の担任の先生には、本当にお世話になっており感謝しています。参観の歴史の授業は、子どもたちがとても楽しそうでした。

○合理的配慮については、人手不足の為か?まだまだ行き届いて無い様に感じます。徐々に改善される事を願います。

保護者の皆様からの貴重なご意見、ありがとうございます。教職員の対応についても様々なご意見をいただきました。どのご意見も真摯に受け止め、今後の児童への指導に生かしていきたいと思っております。特に、教職員によって対応が違うとのご意見は、我々の不徳といたすところです。教職員の児童理解を一層深めるとともに、共通理解を図り、同一歩調で児童の指導に当たるように努めてまいります。

子どもたち一人一人に寄り添い、励ましていくのが教師の役目と考えます。また、教職員の言動が子ども達に与える影響は大きいものと考えます。言葉が交わされる時、伝えられるものは、「言葉が示す事柄」だけではありません。そこには、言葉を述べた人の心が表れます。子ども達が、自然と人間関係を豊かにする言葉を使えるように、まずは私たち大人が手本となりよりよい言葉の環境をつくっていくことが大切です。今後も、研修等を通して、職員一人一人の意識改革に努めてまいります。保護者の皆様の一つ一つの思いを真摯に受け止め、今後の指導に生かしていきたいと思っております。子ども達の日頃の様子を保護者に伝え、保護者からの相談にも応えていけるようにしていきます。そのためにも、学校に来校する機会を増やし担任に気軽に相談できるようにしたり、教育相談担当窓口を周知し、保護者の悩みにいち早く気付けるようにしたりしながら教育相談の充実に努めてまいりたいと思っております。

また、「ありがとうございます」という言葉も学校評価の中に多くありました。そう言っていただけることに感謝しております。「ありがとう」がたくさん飛び交う学校にしていきたいと思っております。

【学校行事・教育課程について】

- 音楽発表会や持久走大会などコロナ前に行っていた行事なども実施いただけると、子供たちの意欲も益々あがる気がします。
- いつもありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。
- 安全性が心配です。昨年に続き停電に雨漏りと、改善がされていないように思います。また校外学習や修学旅行、筑波山登山や持久走大会等コロナ禍の活動自粛から今になり再開されるのかと思われたものがそのまま縮小されたままや無くなったりと、学校活動として今まで出来ていた事が少なくなり子供達の活動の幅が狭まり残念です。運動量の回復や地域社会への視野を広げる機会が増える事を期待します。部活動についても同じく、他の市内小学校では来年度もまだ活動は続くそうです。同市内の学校でどうして差が出来るのでしょうか。残念です。
- 音楽発表会や持久走大会などコロナ前に行っていた行事なども実施いただけると、子供たちの意欲も益々あがる気がします。
- 音楽発表会などの行事をやってほしい。
- コロナ禍での制限がなくなっていく中で、近隣の学校は運動会も全校でやっているのに、未だ分散でやっているの、来年度は全校で開催してほしいです。
- 近隣の学校よりも行事の内容が少なかったり、保護者向けに公開していなかったり、コロナ禍を引きずっている感があります。
 - ・土曜日の授業参観・音楽集会の保護者への公開・1/2成人式・持久走大会・全校での運動会等々先生方もお忙しいのは重々承知ですが、少しさみしかったです。また、柏市内の部活動の陸上大会と音楽発表会が廃止となり、とても残念でした。その廃止の理由も全くもって理解出来ない内容だと感じました。お世話になりました。ありがとうございます。
- 持久走大会まではしなくてもいいですが、冬季の手軽な運動として持久走を取り入れていただきたい。
- いつも子供のペースに合わせた指導をいただき感謝しております。

いちょう子まつりはとても楽しんでおりましたので、このような行事が毎年あればいいなと思ひました。また、校内の様子を見る機会がもう少しあれば嬉しいです。

今年度5月にコロナウイルス感染症の分類が2類から5類に変更になり、制限が緩和されました。行事等においても、子ども達の安全と安心を確保しながら進めるにはどうしたら良いか検討を重ねてきました。そのため、今年度の一小オリンピックでは、学団ごとに発表を見合い、保護者も観覧席を入れ替えて行う形へとアップグレードさせてきました。感染防止対策をとりつつ、より安全に、よりゆったりと保護者の皆様にも子ども達の頑張る姿を見て楽しんでもらいたいとの思いから、保護者席を入れ替えての発表という形をとらせていただきました。保護者の皆様からも一定の評価をいただきましたが、次年度につきましては、全学年一斉に実施したいと考えています。種目や方法については検討していきたいと思います。行事の日程や内容については、年間行事予定や学校だより、学年だよりを通して、できる限り早急に、かつ丁寧な説明と共に保護者の皆様にお知らせできるよう努めて参ります。

保護者の皆様からも行事の在り方について様々なご意見をいただいております。次年度の行事については、今年度までに培った感染対策もとりつつ、子ども達の実体験を充実させられるよう、また子ども達の笑顔が届けられるよう、参観の方法等も含め、行事等の在り方について検討していきたいと思います。

【健康面について】

- 給食の献立が子ども向けの献立が多く、がんばって食べたいと思えるように工夫されていることがすごいです。息子は給食が大好きです。
- 児童の視力低下が深刻化していることから、学校で1日数回遠くを観る時間を設けるなどの取り組みをしていただけたらと思いました。
- いまだにマスクだらけで修学旅行の写真を購入する気にもなれなかった。先生たちが率先してマスクをはずさないとはずせないのではないのでしょうか。ずいぶん前から企業は宴会して、窓しめて暖かい暖房して加湿器かけて、快適に生きているのに、子供たちに申し訳ないです。感染症対策のピリオドの判断も大事かと思えます、これからのみんなの健康のために。
- 欠席者が多い時や学級閉鎖などの連絡がありますが、病名も知らせていただきたいです。インフルエンザなのか胃腸炎なのか、など。体調不良者が多い、だけでは何が流行しているのかわからず不安です。また、症状が出て、受診した際に説明できず困ります。
- うちの子含めてクラスメイトも身体が弱いと思います。コロナが5類になった為マスクを外すようになったら風邪を引き肝心な行事に参加させることも出来ず、可哀想なことをした。他の親御さまにも、もう少し配慮して欲しいと思った。

マスク着用の考え方が見直され、学校教育活動の実施に当たっては、「マスクの着用を求めないことを基本とする」とされています。基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望する児童生徒もいることから、そういった方に外すことを強いることは適切ではありません。そのため、学校では現在、マスクをつけるかつかないかの判断は、ご家庭の判断に委ねているところです。学校生活においては、学校や教職員からマスクの着用を求めることなく、引き続き着用が推奨される場面（給食中等）を除き、児童がマスクを外して学校生活を送ることができるよう基本的な感染対策に努めてまいります。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

また、今年度は、感染症が増え学級閉鎖等の措置をとることも多くありました。スクリーン等で保護者の皆様にお知らせした際、何が流行しているのかまでお知らせしておらず、ご不安を与えてしまい、申し訳ございませんでした。年度の途中からではありますが、主な欠席理由等を入れて配信する形へと変更いたしました。病院等を受診する際には、配信された内容等もお伝えいただければと思います。

【その他】

- 懇談会の際、子供が家で1人になってしまうので、安全な場所を提供していただけると安心して出席できると思います。

- 懇談会の進行を全学年で合わせてもらえると助かります。兄弟がいる場合に、特に初めての学年では先生の話を知りたいと思っても、進行が兄弟のクラスで逆だったため、タイミング悪くどちらのクラスでも自己紹介のみとなってしまう、先生の話は一切聞けずに終わってしまいました。
- 日頃より大変お世話になり有難うございます。朝のチャイムまでは校庭で自由に遊べる機会を設けていただくことは可能でしょうか。子供たちも早めに登校する楽しみや、朝から学習の意欲がより増すことになるのではと期待しています。お忙しい中恐縮ですがご検討いただければ幸いです。
- ルームとは別で、夕方まで預かっただけの学級などがあれば助かります。
- 旭東小との統合？の件、在校生に対しての意見集約はどうされる予定ですか？制服の件含めて、該当する学年に対してアンケートをとる等各校で行っていただきたいです。西口の再開発もからんでいますし、通学や工事の面の不安もあります。卒業生、地域の方々含めて幅広い意見集約をお願いします。
- 学校移転後の跡地利用に子供が遊べるスペースになる様に1小として意見を持って地域や市に出して欲しい
- いつもありがとうございます。
- もし不登校の子がいたら、生徒でメッセージを作る、送るなどしたらよいかと思いました。

【安全面・施設について】

- 外国人風の不審者情報が多く感じられるようになり、近くに日本語学校もあり偏見ではないですが、正直少し心配です。正門からは誰でも入れてしまうのももう少し強化してほしい。
- 日中、正門の鍵が開いていて防犯面が心配。たとえ施錠したとしてもあの高さでは簡単に乗り越えられるとも思う。
- 遊具がないことに子どもたちは不満に思っているようです。すべり山も利用できないと聞いています。他校と比較しても遊具が少ない理由は移転に向けての動きなののでしょうか？
また不審者情報についてのメールが日中届く事もあります。タイムラグがあるのか子どもたちには伝わらないまま下校する時が少し心配です。普段から親から気をつけるよう言い聞かせるのはもちろんですが、下校前に情報があれば子どもたちに伝えていただけるとありがたいです。
- 学校の環境を整える。(掃除)自分の心と体の健康を守る。
- ネクスファ利用日は保護者同伴で柏中方面の指定下校ルートから下校させていたのですが、岡田病院横の喫煙スペースを通る点や駅前の人通りの多い場所を通る点に不安があり(子どもは高島屋本館入口前あたりでいつも混乱します)、またデッキを通るために長い階段を上り下りする事を子どもが嫌がる事が多かったため(特に夏場)、自力下校に向けて練習し始めてからは別ルートを利用させています。少なくともデッキは上らず地上のペットショップ・映画館前の通路を歩き、高島屋本館前の横断歩道を渡るようにしたほうが、ずっと歩きやすそうでした。色々事情があって現在の指定ルートに決まったものとは想像しておりますが、一意見としてご参考いただけますと幸いです。

今年度は、柏一小における不審者情報は、近隣の学校からの情報を含め21件ほどありました。今後は警察とも連携し、子ども達の安全を見守っていきます。また、地域の危険箇所等につきましては、市にも要望をあげていきたいと考えております。今後はPTA本部や地域、保護者の協力のもと見守り活動を進めてまいりたいと思います。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

学校の遊具、施設につきましては、市の遊具点検をもとに設置工事の予定が決定されていきます。子ども達にはご不便をかけ大変申し訳なく思っております。体力向上の面で心配もありますが、子ども達が少しでも快適に過ごせるよう配慮していきます。ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

保護者の皆様から頂いた柏一小をより良い学校にするためのご意見をもとに、次年度以降、PTA本部とも連携を取りながら進めてまいりたいと思います。貴重なご意見、ありがとうございました。

3 学校評価検討委員会より

- ・学校経営は順調であると評価できます。
- ・スクリーンやすすくメール、学校 HP をとおして、学校の情報はこまめに発信されています。
- ・地域とのつながりを、これからも大切にしていってほしいです。
- ・地域のボランティアの高齢化に対応する必要があります。
- ・学校の体験的な学習の時間の評価が高かった。地域の人材活用や行事への地域住民の参加をより一層進めてほしいです。
- ・体験的な学習が好きで、学校へ行くのが楽しいと感じている児童が8割いるのは、日頃の教育活動が良いものだと思います。学校の役割の中心が座学から体験的な学習を提供するところへ変わってきていると思います。その中で、地域の協力は必須であり、コミュニティースクール、地域学校協働活動が大切になってくると思います。
- ・宿題については、やらなくてはいけないものだと主体的に取り組みにくいものになってしまうと思います。ゲームの誘惑に負けないくらいの宿題を出さないと主体性も難しいと思います。ご家庭、学校で各々の児童に合った宿題の在り方が求められてくるのではないのでしょうか。
- ・家の人に学校であったことや友達のことを話せない児童が2割いることは、大変ショックなことでした。気軽に話せる大人がいる居場所は、学校はもちろんのこと、地域にもあるといいなと思います。
- ・早寝、早起き、朝ご飯は食べてもらえない児童が2割弱います。このうち、食べたくても食べてもらえない子どもには支援が必要です。ご相談いただければと思います。
- ・地域部活になり、有償化は避けられないとは思いますが、こちらも体験・経験がご家庭の経済状況で変わってくるのは悲しいことです。地域で補えることができれば理想的です。また、公園でボール遊びができません。学校の解放、見守り体制ができればと思います。
- ・楽器に触れる機会も地域に眠る音楽家を活用できないのかと思います。
- ・学級懇談会に不登校の親は参加しにくいというお声を聴きます。そのタイミングで不登校親の会で集まり話す機会があればと思っています。
- ・地域とのつながりと言うなら、町会に早い段階から話をしてほしい。なんでも良いので、何を考えているか、何をやりたいのかをなるべく早く教えてもらえれば、町会に流して意見を聞いて、協力する方法が見つかると思います。
- ・小中一貫校について、旭東小とこれから数年かけて、子ども達の交流をさせたらどうかと思っています。これまでのように、中学校に新しく入れば、ゼロクリアーでみんな平等ですが、今の1、2年生は5、6年生で突然同じ小学校になります。早くからそういうことに慣れさせたらどうかと思っています。
- ・項目によっては「そう思う」の結果が児童、教員の間で2倍近く差が感じられた。「ややそう思う」と合わせると肯定的な評価として大体良いのではと思うが、立場が違うとはいえ、意識が離れているのではないかと思う。もっと近い数字になれば、さらに良い学校になるのではないかと思います。
- ・㉑～㉒では保護者と教員の結果がほぼ同じであり、同じ方向に向かっていると思われ、来年度も楽しい教育活動になるのではないかと思います。
- ・8割以上の児童が「学校へ行くのは楽しい」と回答している点が印象的です。GIGAも徐々に浸透してきているように感じました。
- ・読書に関する項目は、中学校も含めて、保護者の期待値が高いので、ポイントだけを見ると総じて低いです。先日実施した三校合同ビブリオバトルのような形で子ども達も読書を楽しめればと思います。
- ・体験的な学習についても、自ら学び心と体が健康でたくましく育つためにこれからもとても大切だと思います。子ども達が「相談相手」に困っているようです。これからも相談しやすい環境づくりをお願いします。

- ・客観的な視点で見ると、学校が考えていること、行っている内容、しようとしていることが上手く伝わっていないのではないかと感じました。私は、保護者として、PTA 役員として、委員として学校のことを知る機会が多いので、親子ともに大変満足していますが、保護者とだけ関わりのある人にとっては、学校への理解を深めることが難しいのかもしれないかもしれません。アンケートの中にある学校の情報発信の仕方を一つ一つ丁寧に改善していくことで、学校の良さを知っていただけるのではないかと思います。
- ・子ども、保護者、教員の皆様が教育目標である「よく笑い、よく遊び、よく学ぶ」環境づくりを振り返ってみてもいいのかもしれないかもしれません。
- ・コロナ禍の中で、2類から5類への移行に伴い、様々なことに対し、対応の変更を誰もが求められた一年だったと思います。勉強以外の部分でのアンケートからみえること、感じることに對し、私たちができることがあったのかと反省の意味を込めて、参考にしたいと思います。
- ・部活についてのご意見については、市の方針があることだと思うので、市の協力を得て、保護者の理解・児童へのフォローができることを願います。

4 まとめ

インフルエンザや新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、柏一小でも学級閉鎖など日々対応に追われていましたが、3月に入り、感染の状況も落ち着いてきたように感じています。これまで3年間、当たり前だった様々な行事が中止になったり、例年の形で行えなかったりしましたが、保護者の皆様や地域の皆様にご協力いただき、4年ぶりに開催できた行事が増えたことを嬉しく思います。保護者の皆様には、ご家庭での感染対策等など様々な形でご協力いただきありがとうございました。職員一同心よりお礼申し上げます。

次年度は、更に一歩先に進みそうです。来年度も今年度と変わらぬ、ご支援、ご協力をお願いいたします。本校職員一同、この度の学校評価から得た課題をしっかりと受け止め、次年度に生かしたいと思います。今後も柏一小の子ども達が「かしわ一小けんめい！よく笑い よく遊び よく学ぶ」を合言葉に、学校生活を充実させ、大きく成長できるよう取り組んでまいります。